

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 アーバンライフ株式会社
 コード番号 8851 URL <http://www.urbanlife.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 仁

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 江頭 武

TEL 078-452-0668

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	10,928	△11.5	△26	—	△318	—	55	—
21年12月期第3四半期	12,349	38.7	△1,174	—	△1,617	—	△1,623	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	2.48	—
21年12月期第3四半期	△72.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	30,641	442	1.4	19.68
21年12月期	39,164	386	1.0	17.21

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 442百万円 21年12月期 386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年12月期	—	0.00	—		
22年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△26.3	150	—	△200	—	200	—	8.90

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、 除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期3Q 22,513,000株 21年12月期 22,513,000株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 30,581株 21年12月期 28,711株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期3Q 22,483,426株 21年12月期3Q 22,486,364株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 追加情報	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(第3四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日～平成22年9月30日）における我が国経済は、企業収益や設備投資において徐々に持ち直しの動きがみられ、景気も緩やかな回復基調にありますが、世界経済の減速や急激な円高などの影響による今後の企業業績の悪化も懸念されており、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

不動産業界におきましては、7月1日時点の基準地価が19年連続で下落し、依然として地価の下落傾向は継続しておりますが、下落率が前年より縮小しており、リーマンショック以降に急速に冷え込んだ不動産投資に動きが始まっております。関西の分譲マンション市場におきましては、新規発売戸数および契約率が前年に比べて改善しており、購買意欲の高まりも一部みられますが、一方で長期的なデフレ基調や景気の先行き不透明感などの不安材料もあり、本格的な市況の回復にはまだ当分の時間を要するものと思われまます。

このような状況のもと当社グループは、引き続き完成在庫の早期完売に注力するとともに、人件費および一般管理費等のコスト削減に取組み、収益の向上と利益の確保ならびに財務体質の改善に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高109億2千8百万円（前年同期比11.5%減）、営業損失2千6百万円（前年同期は営業損失11億7千4百万円）、経常損失3億1千8百万円（前年同期は経常損失16億1千7百万円）、四半期純利益5千5百万円（前年同期は四半期純損失16億2千3百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、つぎのとおりであります。

①不動産販売事業

不動産販売事業におきましては、なんばグランドマスターズタワー（大阪府）が竣工、引渡しを行うとともに、完成在庫の販売、引渡に注力してまいりました。その他、神戸市灘区土山町の土地1,890.18㎡を売却しております。また、完成在庫の販売を促進するため、厳選した広告宣伝の実施やモデルルームの集客力の向上を図る一方、販売経費削減を積極的に推し進めました。しかしながら集客数の伸び悩みから、売上高は94億3千6百万円（前年同期比14.3%減）、営業損失は1億5千1百万円（前年同期は営業損失11億2千4百万円）となりました。

②賃貸事業

賃貸事業におきましては、賃貸収入の安定的な確保を目指し、入居者誘致活動の推進により既存物件の稼働率改善及び賃貸コスト圧縮に努めた結果、賃貸収入は6億4千8百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は2億4百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

③販売代理・仲介事業

販売代理・仲介事業におきましては、販売代理事業は新規受託物件の販売が好調に推移し、仲介事業は取扱件数、取扱高が増加した結果、売上高は5億3千5百万円（前年同期比22.1%増）、営業利益は9千1百万円（前年同期比61.2%増）となりました。

④その他の事業

その他の事業におきましては、周辺ビジネスの拡大に努めた結果、その他収入は3億9百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は6千7百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は306億4千1百万円（前連結会計年度末比85億2千2百万円減）となりました。流動資産は、たな卸資産の減少等により249億1千4百万円（同80億7千2百万円減）、固定資産は、提出会社の本社移転に伴う設備の除却、関係会社株式の売却等により57億2千7百万円（同4億5千万円減）となりました。

負債につきましては、流動負債が仕入債務の減少、預り金の減少、移転関連費用引当金の減少等により、292億7千8百万円（同56億8千1百万円減）、固定負債が長期借入金の減少や退職給付引当金の減少等により9億2千1百万円（同28億9千6百万円減）となりました。

また、純資産は四半期純利益の計上により4億4千2百万円（同5千5百万円増）となり、その結果、自己資本比率は1.4%（同0.4ポイント増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億1千7百万円増加し、12億7千7百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、16億6百万円（前年同期比12億9千1百万円の増加）となりました。これは、主にたな卸資産の減少74億2千1百万円により資金が増加したものの、仕入債務の減少49億4千万円、預り金の減少11億8千7百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、9億1千1百万円（前年同期は7千万円の支出）となりました。これは、主に関係会社株式の売却による収入9億4千1百万円、定期預金の払戻による収入1億円、固定資産の取得による支出7千9百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、24億円（前年同期は9億7千1百万円の支出）となりました。これは、主に短期借入れによる収入41億円、長期借入金の返済による支出65億円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、平成22年8月10日の第2四半期決算発表時の業績予想通りに推移するものと予測しており、変更を行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

・棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産に関しては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(退職給付引当金)

グループ全体の効率的な人員配置による自社物件の販売促進および販売代理事業の強化等を図るために、当社の販売部門をアーバンライフ住宅販売株式会社に移管した結果、これに伴う転籍により、退職給付債務が著しく減少しましたので、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理（企業会計基準適用指針第1号）」に基づき、退職給付制度の一部終了に準ずる処理を行い、これにより発生する損失を退職給付費用として、特別損失に46,631千円計上しております。

また、当社は退職給付債務の計算方法について、従来、原則法を採用しておりましたが、従業員の減少により現在の従業員規模では、原則法によると合理的な数値計算上の見積りが困難となったため、第2四半期連結会計期間より簡便法を採用することにいたしました。この変更に伴う退職給付費用として、特別損失に8,137千円計上しております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度で2期連続して営業損失を計上しております。当第3四半期連結会計期間においては、営業面で費用対効果を意識した広告活動、お客様第一主義を徹底した販売活動により完成在庫を着実に減らすとともに、新築・仲介・賃貸のグループ内各セッション連携による相乗効果により収益力の強化を図っております。また、有利子負債の圧縮による金利負担の軽減と本社移転や組織再編によるスリム化等の徹底したコスト削減施策を推進しております。

今後、これらの施策による損益改善効果が見込まれる状況において、当社グループは継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと考えており、引き続き更なるコスト削減と販売力の一層の強化により財務基盤の安定化に努め、営業利益の確保を目指してまいります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,327,108	1,259,486
受取手形及び売掛金	132,352	149,123
有価証券	—	40,000
販売用不動産	13,820,843	19,813,725
仕掛販売用不動産	17,742	1,260,338
開発用不動産	9,455,486	9,641,087
その他	182,227	847,318
貸倒引当金	△21,208	△24,347
流動資産合計	24,914,551	32,986,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,592,417	1,620,363
土地	3,105,459	3,105,459
その他(純額)	44,614	33,086
有形固定資産合計	4,742,491	4,758,908
無形固定資産		
借地権	243,286	243,286
その他	37,477	45,393
無形固定資産合計	280,763	288,679
投資その他の資産		
投資有価証券	71,597	530,226
その他	632,437	599,745
投資その他の資産合計	704,035	1,129,971
固定資産合計	5,727,290	6,177,560
資産合計	30,641,842	39,164,294

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	605,747	5,546,615
短期借入金	27,500,000	19,400,000
1年内返済予定の長期借入金	—	7,770,000
未払法人税等	15,537	14,611
前受金	335,935	294,007
預り金	322,643	1,509,657
移転関連費用引当金	—	77,312
その他	498,437	347,177
流動負債合計	29,278,300	34,959,382
固定負債		
長期借入金	—	2,730,000
退職給付引当金	256,740	409,150
繰延税金負債	654	637
その他	663,692	678,221
固定負債合計	921,087	3,818,009
負債合計	30,199,387	38,777,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	307,631	307,631
利益剰余金	△2,859,092	△2,914,743
自己株式	△7,026	△6,903
株主資本合計	441,511	385,983
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	942	917
評価・換算差額等合計	942	917
純資産合計	442,454	386,901
負債純資産合計	30,641,842	39,164,294

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高		
不動産売上高	11,011,350	9,436,252
その他の事業収入	1,338,389	1,492,595
売上高合計	12,349,739	10,928,847
売上原価		
不動産売上原価	10,771,167	8,499,158
その他の事業原価	497,030	500,647
売上原価合計	11,268,197	8,999,806
売上総利益	1,081,542	1,929,041
販売費及び一般管理費	2,255,919	1,955,981
営業損失(△)	△1,174,377	△26,940
営業外収益		
受取利息	2,289	1,420
受取賃貸料	51,586	45,188
持分法による投資利益	23,821	—
その他	47,815	35,728
営業外収益合計	125,513	82,336
営業外費用		
支払利息	494,993	352,997
その他	73,765	21,184
営業外費用合計	568,759	374,181
経常損失(△)	△1,617,623	△318,785
特別利益		
関係会社株式売却益	—	441,656
特別利益合計	—	441,656
特別損失		
退職給付費用	—	54,768
特別損失合計	—	54,768
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,617,623	68,102
法人税、住民税及び事業税	5,699	12,452
法人税等合計	5,699	12,452
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,623,323	55,650

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高		
不動産売上高	2,806,216	2,424,241
その他の事業収入	450,557	488,960
売上高合計	3,256,773	2,913,201
売上原価		
不動産売上原価	2,811,802	2,248,035
その他の事業原価	163,419	153,424
売上原価合計	2,975,221	2,401,460
売上総利益	281,551	511,741
販売費及び一般管理費	614,760	500,422
営業利益又は営業損失(△)	△333,209	11,318
営業外収益		
受取利息	511	507
受取賃貸料	15,082	15,871
持分法による投資利益	25,817	—
その他	5,220	9,985
営業外収益合計	46,631	26,364
営業外費用		
支払利息	158,460	113,960
その他	31,900	8,280
営業外費用合計	190,360	122,240
経常損失(△)	△476,938	△84,558
特別損失		
退職給付費用	—	8,685
特別損失合計	—	8,685
税金等調整前四半期純損失(△)	△476,938	△93,243
法人税、住民税及び事業税	1,899	7,642
法人税等合計	1,899	7,642
四半期純損失(△)	△478,838	△100,886

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,617,623	68,102
減価償却費	61,107	61,839
引当金の増減額(△は減少)	△54,554	△232,861
固定資産除却損	6,030	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△441,656
受取利息及び受取配当金	△2,289	△1,420
支払利息	494,993	352,997
持分法による投資損益(△は益)	△23,821	△2,252
売上債権の増減額(△は増加)	△23,146	16,771
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,080,732	7,421,079
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,504,520	△4,940,868
信託受益権の増減額(△は増加)	1,677,689	—
その他	633,190	△343,637
小計	727,787	1,958,092
利息及び配当金の受取額	3,292	2,990
利息の支払額	△407,368	△346,717
法人税等の支払額	△8,814	△7,715
営業活動によるキャッシュ・フロー	314,897	1,606,650
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有価証券の償還による収入	—	40,000
投資有価証券の取得による支出	—	△40,050
関係会社株式の売却による収入	—	941,000
固定資産の取得による支出	△20,963	△79,125
その他	339	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,623	911,944
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,630,000	4,100,000
長期借入れによる収入	2,800,000	—
長期借入金の返済による支出	△11,400,000	△6,500,000
その他	△1,153	△973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△971,153	△2,400,973
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△726,879	117,621
現金及び現金同等物の期首残高	1,952,300	1,159,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,225,420	1,277,108

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	不動産販売 (千円)	賃貸 (千円)	販売代理・ 仲介 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	11,011,350	598,301	438,109	301,979	12,349,739	—	12,349,739
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	11,282	4,364	102,899	118,546	(118,546)	—
計	11,011,350	609,583	442,474	404,878	12,468,286	(118,546)	12,349,739
営業利益又は営業損失(△)	△1,124,334	159,094	56,994	67,652	△840,592	(333,784)	△1,174,377

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	不動産販売 (千円)	賃貸 (千円)	販売代理・ 仲介 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,436,252	648,192	535,079	309,323	10,928,847	—	10,928,847
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	11,655	95,186	65,552	172,394	(172,394)	—
計	9,436,252	659,847	630,266	374,875	11,101,242	(172,394)	10,928,847
営業利益又は営業損失(△)	△151,898	204,898	91,890	67,935	212,826	(239,766)	△26,940

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な内容

事業区分は、事業内容を勘案して、下記のとおり分類いたしました。

- (1) 不動産販売 ……中高層集合住宅・ビル及び店舗の開発及び分譲等
- (2) 賃貸 ……住宅・店舗及び駐車場の賃貸
- (3) 販売代理・仲介 ……分譲マンション等の販売受託及び売買賃貸斡旋業務
- (4) その他 ……分譲マンションに係る付帯事業等

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) セグメント別売上実績

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)		
	金額(千円)	構成比(%)	前年同期増減率(%)
不動産販売事業	9,436,252	86.4	△14.3
賃貸事業	648,192	5.9	8.3
販売代理・仲介事業	535,079	4.9	22.1
その他の事業	309,323	2.8	2.4
合計	10,928,847	100	△11.5

(2) 不動産販売事業の状況

① 契約及び契約残高の状況

イ 不動産販売事業の契約実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)		
	数量	金額(千円)	前年同期増減率(%)
中高層住宅	265戸	8,078,565	△44.2
土地	1,890.18㎡	239,351	698.2
合計	—	8,317,917	△42.7

(注) 同業他社との共同事業契約分につきましては、その事業比率割合に応じた戸数(又は面積等)及び金額で計上しております。

ロ 不動産販売事業の契約残高

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)		
	数量	金額(千円)	前年同期増減率(%)
中高層住宅	42戸	1,563,302	△79.4
土地	—	—	—
合計	—	1,563,302	△79.4

② 販売実績の状況

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)		
	数量	金額(千円)	前年同期増減率(%)
中高層住宅	309戸	9,196,900	△16.2
土地	1,890.18㎡	239,351	698.2
合計	—	9,436,252	△14.3